

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 夏ならではの様々な遊びを存分に楽しむ。 夏の生活の仕方が分かり健康に過ごす。 これまでと違った友だちや異年齢と触れ合いながら関わりを楽しむ。 夏の身近な自然現象に興味をもち、見たり触れたりして楽しむ。 	<p>子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> プール遊びや水遊びに期待をもち、自分から片付けや身支度を行おうとしていた。 シャボン玉遊びで面白さを楽しんでいた。 飼育している昆虫などの成長や動きに興味を持っている。 水遊びを楽しんでいる子どもも抵抗のある子どもも保育者ということで楽しんでいった。 	<p>行事</p> <p>9日・23日 英語で遊ぼう 22日 身体測定 24日 避難訓練 30日 おはなし会</p>
養護 ○生命・ 情緒	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏の健康に留意し、気持ちよく過ごせるようにする。 一人一人の欲求を受け止め、自分の思いや考えを出せるようにする。 休息を十分に取ながらゆったりと過ごす。 水分補給をこまめに行う。 安心できる環境の中、解放感を味わいのびのび過ごす。 	<p>環境構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調で室温を調節し、快適に過ごせるようにする。 子どもの話を聞く時間を作る。 気温、湿度に留意し、室温を調節する。 保育室や園庭の安全点検や衛生管理をする。 活動のバランスを考え、環境を整える。 常に、水分補給が出来るように準備しておく。 	<p>保育者の援助及び配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康管理を十分に行い、異常のある時は的確に対応する。 子どもの思いを受け止め、安定した生活が送れるようにする。 十分に遊んだ後は、身体を休めることの大切さを知らせ、静と動のバランスが取れるように一人ひとり考慮する。 一人ひとりの体調の変化を見逃さず、異常があった時は、適切に対応し看護師と連携をとる。
教育 ○健康・ 人間関係 ・環境 ・言葉 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> 汗の始末や着替え等、できることは自分でしようとし、水分補給をする。 涼しい場所で絵本を見たり、ゲームやパズルなどをしたりしてゆったり過ごす。 ルールを守ってプール遊びを楽しむ。 保育者や友だちとプールで全身を使い遊ぶ。 異年齢児と親しみ、関わって遊ぶ。 自分が経験したことを話したり相手の話を聞こうとしたりする。 夏の自然現象に興味・関心を持てるようにする。 経験したこと、自分のしたい事、してほしいこと、困ったことを自分の言葉で伝え、会話をしようとする。 人の話を最後まで聞こうとする。 日常に必要な挨拶や返事をする。 夏の昆虫に興味をもち、世話をしたり絵本や図鑑で調べたりする。 地域の行事を通していろいろな人に親しみを持つ。 様々なものの音、色、形、手触り、動き等に気づき驚き、感動したりする。 経験したことを遊びに取り入れ再現して遊ぶ。 身近な素材に触れたり好きな物を作ったりする。 保育者や友だちと夏の歌を歌ったり、リズムカルな曲に合わせ、踊ったりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 静的遊びや午睡をしながら、暑い時期に体を休める生活の場を作っておく。 プール遊びが楽しめるようにフラフープ、バケツ、ジョウロ、宝探し等を用意しておく。 プール遊びでは水に対してのなれ合いにあわせてグループにわけ、遊びの内容も工夫し安心して楽しく遊べるようにする。 外気温と室内との温度に気を付け水遊び後の身体を冷やさないようにする。また、午睡や休息時は快適に過ごせるように温度調整をしていく。 異年齢児の友だちと関わって遊べる時間を作る。友達と一緒に遊ぶことを楽しめるような遊びを提供していく。(体操、踊り、簡単なリズム等) 絵本や図鑑を見やすい場所に用意しておく。 子どもがゆったりと落ち着いて話が聞けるような時間や場所を作る。 イメージが膨らみいつでも作ったり描いたりできるような素材を準備したり、色々な遊びが楽しめるようにする。 全体で話を聞く場を設けていく。 絵本コーナーの本は、時期にあったのもや、興味を持ちそうな本か点検する。 季節の歌を歌う場を設けていく。 廃材や絵の具などの素材を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でしようとする姿を認めたり、誉めたりする中で自信につながるようにする。 プール遊びでのルールを伝え、一人一人が十分に楽しめるようにする。 プールに入れない子どもには好きな遊びを選んで楽しめるようコーナーの設置を工夫する。 プール遊びの前後や喉が渇いたときは、適宜水分補給ができるようにし、声を掛けるなどをして熱中症予防をしていく。 異年齢児と交流するときにはそれぞれのクラスで日頃から親しんでいる玩具を持ち帰り好きな遊びが楽しめるようにしていく。 今まで遊ぶ機会があまりなかった友だちとの関わりは、見守りながら、必要に応じて保育者も一緒に入ってやりとりが楽しめるように仲立ちしていく。 夏の自然現象を子どもと一緒に見たり感じたりしながら共感する。 図鑑等を用意して虫への興味・関心が持てるようにしていく。 一人一人が経験したことを友だちとイメージを共有できるように素材や材料、遊ぶ場所を用意する。 制作等では、保育者が見本をみせ、作り方を丁寧に知らせていく。 作る楽しさや飾る楽しさ、作り上げた達成感が味わえるように、一人一人の姿や作品を認める。 子どもの発想を誉めたり認めたりしながら、感動を共有できるようにする。 子どもが楽しめる曲にふれ、自由に表現できるようにする。
食育	<ul style="list-style-type: none"> 自然現象や栽培物など身近な夏の自然に興味や関心をもつ。 食べた終わった食器を片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の水やりの必要性を伝え、いつでもできるようにジョウロを取りやすいところに設置しておく。 食器の片付けは子どもたちがしやすいように片付け方の見本をお盆の上に置き、同じ種類のものは同じところに片付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜などの水やりを一緒に行いながら、生長に期待を持たせて形や色、においなどに気付かせたり収穫して食べる喜びを感じられるようにしたりする。 食事を作る人や食材に対して感謝の気持ちを持つように促していく。
家庭・地域との連携		月の反省	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> 各家庭の夏季休暇をとる時期や過ごし方について確認する。 暑さの為、疲れやすく、体調を崩しやすいので、家庭でも生活のリズムを整えてもらうとともに日々の健康状態について連絡をこまめに取り合う。 			